

本市を取り巻く社会情勢の変化等について

第 6 次荒尾市総合計画(仮称)の策定に当たっては、新・第 5 次荒尾市総合計画の成果検証結果をはじめ、我が国や本市を取り巻く社会情勢の変化などを踏まえた上で、関係団体や市民（地区別ワークショップや荒尾市未来づくり会議）の意見も反映させ、将来像(案)や重点戦略(案)を設定することとしている。今回は、我が国を取り巻く社会情勢や本市の状況について、以下のとおり整理する。

○我が国を取り巻く社会情勢（時代の潮流）

- ・人口減少・高齢化社会の進展
- ・東京一極集中の加速化と地方創生の展開（第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」）
※参考資料を参照
- ・人手不足や担い手不足の深刻化
- ・自然災害の頻発
- ・情報通信技術の革新（Society5.0） ※動画・参考資料を参照
- ・入管法の改正による国際化の進展
- ・持続可能な社会の実現（SDGs の推進）
- ・関係人口（定住に至らないものの、特定の地域に継続的に多様な形で関わる人口）の重視

○荒尾市の状況

- ・人口減少の継続（転出超過の拡大）と高齢化率の上昇
（消費低迷による地域経済の停滞、税収の減少による行政サービスの低下、水道やごみ収集、公共施設や公共交通の維持など行政コストの増大、空き家や空き地の増加による景観・治安の悪化、コミュニティ活動への影響、などが懸念される）
- ・出生率の改善
- ・持続可能な地域経営に向けた取組み（行政経営計画策定・地区担当職員制度開始）
- ・南新地土地地区画整理事業による中心拠点の再生
- ・エネルギーの地産地消の推進（石炭のまちからエネルギーのまちへの転換）
- ・新市民病院の建設推進

上記及び市民の意見等を踏まえ、次回会議においては、将来像(案)及び重点戦略(案)をはじめ、計画の骨子(案)についてお諮りする予定。